

(2) 地域産業における影響

人口減少や人口構造の変化は町民の日常生活だけではなく、地域の産業にも影響を与える。特に働き手である生産年齢人口の減少による影響は大きい。

本町は他市町村と比べ、農業等の1次産業に従事する就業者の割合がかなり高く、本町の特徴となっている。しかし、これらの職業では特に就業者数の減少や高齢化が進んでおり、地域独自の産業の衰退や耕作放棄地の増加が懸念される。また、本町の産業のうち従業者数の多い建設業や製造業、卸売業・小売業等でも、今後の人口減少により従業者の確保が困難になったり、販売額が低下する恐れがある。

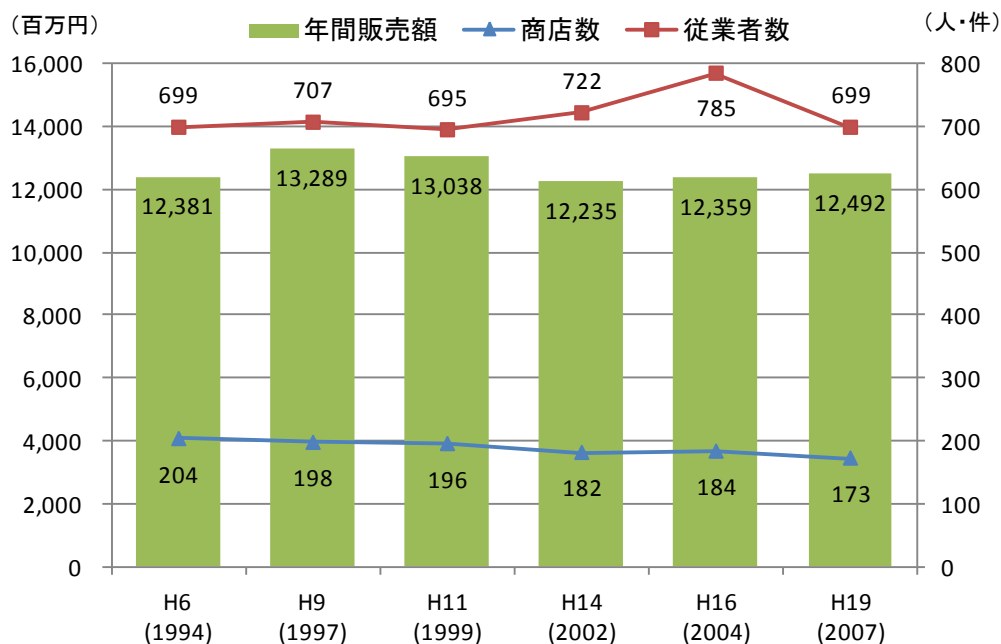
さらにこれらの問題が進行することにより、耕作放棄地の増加による景観の悪化や、住民サービスの悪化が懸念される。

表 1.4 農業就業者の推移

	平成17(2005)年	平成22(2010)年	増減数
農業就業人口	2,120	1,677	-443人
農業従事者の平均年齢	56.9	58.3	1歳
農家総数	1,835	1,710	-125戸
自給的農家	520	498	-22戸
販売農家	1,315	1,212	-103戸

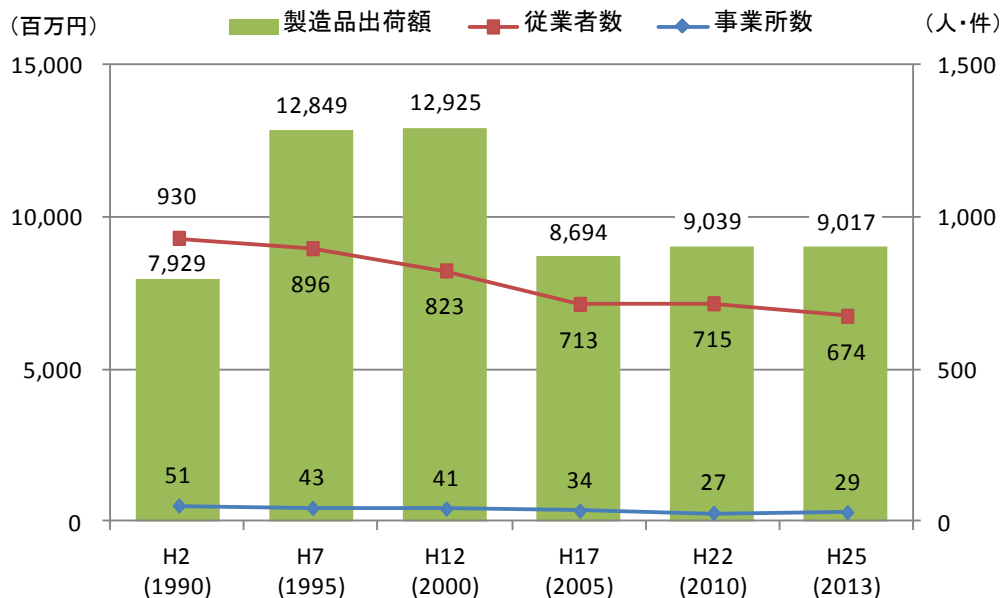
出典：農林業センサス

図 1.20 卸売業・小売業の年間販売額等の推移



出典：商業統計調査

図 1.21 製造品出荷額等の推移



出典：工業統計調査